

第 16 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 11 月 29 日 (火曜)	午後 1 時 30 分	開会
	休 憩 13:48-14:30		
		午後 3 時 13 分	閉会
会議場所	役場 3 階委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 中村 和宏	委 員 黒田 栄継	
	副委員長 正村紀美子	委 員 常通 直人	
	委 員 鈴木 健充		
	委 員 中田智恵子		議 長 早 苗 豊
欠席委員 氏 名	委 員 渡辺洋一郎		
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、渡辺委員欠席の旨を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- | | |
|-------------------------------|--------|
| ア 芽室高校との意見交換会実施要領案について | 当日資料 1 |
| イ 議会報告と町民との意見交換会実施要領案について | 当日資料 2 |
| ウ 白樺高校（3 学年）との連携事業に係る外部評価について | 当日資料 3 |
| エ 物価高騰に対する今後の支援策について | 当日資料 4 |

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 芽室高校との意見交換会実施要領案について 当日資料 1
- ・常通委員：第14回議会運営委員会（11月16日開催）以降の学校との協議による実施要領案（趣旨、目的、テーマ、日程、場所、参加者、事業の留意事項）について協議したい。グループワーク進行要領、PDMシートの目標設定等の提案についても意見をいただきたい。なお、参加議員との事前協議は別途実施する。

- ・委員長：「資料1-1（実施要領案・グループワーク）」について、意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：総務経済常任委員会の参加委員を梶澤委員から鈴木に変更したい。
- ・委員長：変更し、決定する。今後の参加委員の変更は正副一任としたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：他に意見・質疑はないか？
- ・（なし）
- ・委員長：「資料1-1」は提案どおり決定する。次に「資料1-2（PDMシート）」について意見・質疑はないか？
- ・正村委員：上位目標の「芽室高校を存続させる」及び事業目標の「芽室高校の魅力づくりのため」の記載は、芽室高校が主体（主語）となる項目であり、議会が主体（主語）となって掲げる目標シートから削除してはいかがか？
- ・常通委員：御意見を踏まえて議運内の事業担当委員と協議したい。
- ・正村委員：PDMシートの評価指標の設定について、白樺高校の包括連携協定事業では、生徒から事前と事後のアンケート調査を行い目標到達の比較をしたが、今回は白樺と異なり事前・事後の調査等を行わないのか？
- ・常通委員：今回の事業では設定しない。
- ・委員長：休憩とする。
（休憩）
- ・委員長：改めて協議を進める。PDMシートの整理について、まず、上位目標と事業目標について、再度提案を求める。
- ・常通委員：上位目標の設定は「学習環境の充実のため、町民意見を基軸とした議会政策形成サイクルを作動する」とし、事業目標は「若い世代の考え方を政策に反映させる。」としたい。なお、成果は「高校生の意見を知る・学校に必要な魅力を知る」としたい。修正したシートを新たな資料としてお示しする。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（なし）
- ・委員長：異議ないか？
- ・（なし）
- ・委員長：提案内容を議運の案として決定する。なお、次回（12月1日）全員協議会で協議する。

イ 町民との意見交換会実施要領案について 当日資料2

- ・鈴木委員：第2回全員協議会（6月1日開催）で決定した事業方針に基づき、このたび整理した実施概要案を説明する。先週金曜日（11月25日）に、全小中学校に電話で協議した結果、コロナの影響も鑑み、手法は対面式ではなくアンケート形式が望ましいとの結論。それを踏まえて設定した事業概要と今後のスケジュールについて協議いただきたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？

- ・黒田委員：事業概要については、対象者、手法もコロナの背景を踏まえると、適正と考える。
- ・委員長：報告テーマについては、現在議会内で議論している「物価高騰に係る今後の支援策」としたい。意見はないか？
- ・常通委員：報告事項の情報発信の手法について、アンケートに加えると情報量が膨大となることから、報告事項と意見聴取事項を区分して、対象者（各小中学校のPTA役員）に発信してはいかがか？
- ・鈴木委員：御意見を踏まえて、対象者に対し明確で明快な手法となるよう、次回、議運までに検討し提案したい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：提案内容に異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：提案内容に対し、各委員の意見を反映した内容を議運の案として決定する。なお、次回（12月1日）全員協議会で協議する。

ウ 白樺高校（3学年）との連携事業に係る外部評価について 当日資料3

- ・正村委員：外部評価の位置付けの確認、外部評価作業（PDMシートの整理作業）の進捗状況の共通認識、今後の取組み案を説明する。①「資料3-2」で外部評価を行う背景・根拠の確認、②「資料3-3」でPDMシートの整理状況の共有、「資料3-1」で今後の取組みを協議したい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・常通委員：「指標の入手手段」の枠内について、事業の実施前後の評価コメントが「3割に満たない」とあるが、この記述では「3割を希少」と捉えるイメージのため見直してはいかがか？また「外部条件」の枠内で「連携協定書に改廃がない」という意図は何か？
- ・正村委員：御指摘の件については、いずれも客観的事実を記載したものである。
- ・鈴木委員：前者は「事業実施後は若干増加した。」とし、後者はそのまま良いと考える。
- ・中田委員：鈴木委員の御意見に同感である。
- ・黒田委員：コメントは割愛して、アンケート結果のみの記載です。
- ・常通委員：同感である。また、シートの整理方法についての検証について記録しておくべきでないか？
- ・委員長：今後の取組みの中で取り扱っていくこととしたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：提案内容に異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：提案内容に対し、各委員の意見を反映した内容を議運の案として決定す

る。なお、次回（12月1日）全員協議会で協議する。

エ 物価高騰に対する今後の支援策について 当日資料 4

- ・正村委員：当該事項の検討経過の確認、議運としての支援策の制度設計等の分析、今後の検討手順案を説明する。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：委員会機能を効率的に活用した全議員が関与する検討手順に賛成する。
- ・委員長：他にないか？
(意見・質疑なし)
- ・委員長：提案内容に異議ないか？
(異議なし)
- ・委員長：提案内容を議運の案として決定する。なお、次回（12月1日）全員協議会で協議する。

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・12月5日（月）9時30分から

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年11月29日

議会運営委員会委員長 中村和宏